



# 前へ!!!～理想を確信へ～10月号

## 行事を繋げる「体育祭からの～」

### ①修学旅行

9月21日から1泊2日で長崎ハウステンボスに修学旅行に行ってきました。修学旅行企画を立ち上げたときには大阪・京都・奈良の2泊3日の計画でしたが、そこから時期の変更、そして行き先の変更……。9月長崎に決定してからも、当初はハウステンボス→長崎班別研修→稲佐山泊→軍艦島という2泊3日のプランでした。しかしコロナ禍であり、最小限にリスクを抑えながら、どうしたら修学旅行を実施することができるかを考えて育友会の役員・学級委員の皆様にご意見を伺ったり、旅行会社と綿密に打ち合わせをしたりしながら、決まったプランは **学校 → ハウステンボス → 学校** (ホテルオークラ泊) でした。ホテルオークラでは当初から

計画していたテーブルマナー教室を実施。限られた時間と場所の中で、コロナ対策を最大限に行いながら長崎のまん延防止等重点措置が解けた後、出発となりました。

### 生徒の感想

私はこの2日間を通して、食事中のルールやマナー、限られた場所で遊ぶときの行動といった、これからの生活でも役立つことだけではなく、「なぜルールやマナーを守らなければならないのか?」「なぜ学校には校則があるのか?」という疑問の答えを改めて知ることができました。「修学旅行」はまさに、日頃学んでいたことを発揮する場でもあるのだと思いました。

修学旅行を終え、自分は譲り合いが大切だと思いました。理由はその行動が他人を思いやっていると伝わるからです。例えばハウステンボスの中で行きたい場所を決めるときに、自分の行きたい場所と違う場所に行きたいと思う人がいると必ず対立が起こります。でもどちらか一人が譲ると対立は起こらなくなります。また譲られた人が次に対立が起きたときに譲ると公平な関係が生まれます。状況を見て行動することができるようになります。

健康チェックのカードを忘れ、皆さんに迷惑をかけてしまいました。提出物の大切さ、きちんと話を聞くことの大切さを改めて知りました。コロナ禍で中止になるかもしれないと思っていた修学旅行ができたことに感謝しています。企画をしてくださった先生方や送り出してくれた親にありがとうございました。

修学旅行川柳 (誰の作品か、想像しながら読んでみて!)

- かばんから 見えるはみやげと 思い出
- なぜ寝れん 授業寝るのに バスの中で
- ホテル部屋 男三人 秘話
- コスプレだ 売店で買い 重課金

※修学旅行の写真販売は12月の三者懇談の時に展示・申込を行います。先にお渡ししたサンプルは一部です。

### ②体育祭からの 『文化祭』

どこが勝つではなく、どれだけ本気で挑んでいるか?とすることに気がつきました。体育祭の結果発表の後、泣きました。それは隊全員が体育祭に本気で取り組み、本気についてきてくれたからです。本気でやっていたら感動も涙も呼ぶことができます。今回の文化祭も体育祭と同様、本気で取り組み、満足いく結果でなくても、クラスで笑って泣くことができたらいいなと思いました。

リーダーが声を出せば周りも出してくれる。リーダーがちゃんとみんなのお手本をすると周りもついてきてくれるとすごく感じた。その思いを忘れずに文化祭では実行委員をしっかりフォローして周りの空気をいい雰囲気にして、実行委員が指示を出しやすいような環境作りをしたいと思います。

### ③体育祭からの 『中間テスト』

これまで、テスト対策講座を開設しても参加者が・・・と心配していましたが、今回は理科や社会を中心に受講者満員御礼でした！昼休みに勉強をしている生徒の姿もポツリポツリと見るできるようになってきました。今やっている学習はそのまま入試の出題範囲です。ということは定期テスト勉強＝受験勉強。テストは点数のみならず、何をどのように間違えたのか、きちんと丁寧に対策していくこと！次は11月4日に到達度テストが行われます。

### ④体育祭・修学旅行からの 『山口県総合文化祭』

7年に1度しか、回ってこない県の行事。岩国開催の年に3年生であり、会に参加できること。これはなかなかすごい確率です。そして、他校と一緒に「大地讃頌」を歌うことができる喜び。まさに、川下中学校の中で培ってきた力が校外でもきちんと出せるかを試すときです。



一見、単品で行われていると思っていた学校行事や日々の学校生活、そして学習も実は全て繋がっているのです。1年生の時に、「1年は訓練、2年は研修、3年は旅行ができるように生きる力を日々の生活から身に付けよう。」という話をしたことを覚えていますか？

1年次は**集団宿泊訓練**：集団でこれから必要となる人を思いやること・時間を守ること・ルールを守ることを訓練すること。

2年次は**班別研修**：仲間と協力し、見聞を広げるために見学等を行って、得た知識を元にレポートなどをまとめ発表する力を身に付ける。

3年次は**修学旅行**：学びを修める。  
文部科学省が定める目的は、「平素と異なる生活環境の中にあつて見聞を広げ、集団生活のきまりを守り、公衆道徳について望ましい体験を得ることなど」と書かれています。要約すると、「知識を広げる」、「集団生活のきまりを守れるようになる」、「社会に生きる一人として守るべきルールを身につける」ことが修学旅行の目的として挙げられています。学校が位置している地理では得られない経験ができることも、修学旅行の醍醐味。

今回の体育祭や修学旅行を終えての皆さんの感想を読むと

- ・感謝
- ・こまめに人数確認をすることの大切さ
- ・ルールを守ることの大切さ
- ・気づき、考え、行動すること
- ・提出物をきちんと出すこと
- ・時間を守る
- ・人の話をきちんと聞いて行動する



- ・計画することの大切さ
- ・一人ひとりの意識や行動
- ・わがまを言わず我慢すること
- ・仲間の大切さや集団の力の大きさ
- ・100-1のマイナスをなくす力を持つこと
- ・責任感をもつこと
- ・お金の使い方を考えることの重要さ



について書いてありました。こうして身に付いた力を中学校の中だけではなく、校外での行事（県総合文化祭や入試）で活用できるようになることです。それができるようになるために学ぶのが学校という場です。

よく生徒の感想を見ていると、『学んだことを今後の学校生活に生かして』という一文が使われています。私は行事は振り返りを書いて終わりではないと思います。それを、1ヶ月、3ヶ月、半年、1年というスパンの中でその力がどのように生かされているかを確認することが大切だと考えます。今、中学校の中で学び、そして感じていることを来年の4月以降、新しい地でそれぞれが活用してくれることを願っています。「なんでこんなことでここまで指導されるのか？」というギモンの答えも、受験という人生を大きく左右する岐路を前にしたら見つかるのではないのでしょうか？正解がない問いの**採点基準はあなたのこれからの人生**です。

**保護者の皆様** 様々な学校行事へご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。生徒の感想の中にも保護者の皆様や地域の方々のご支援のお陰で実現できることの喜びが綴られています。15日付けで配付したように**11月16日**は進路説明会を行います。お忙しい中であるとは思いますが、入試に関する大切なお知らせがありますので、是非ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。なお、修学旅行前（健康カードについて）、実施中（途中経過）、終了後（帰校予定）に3年生の保護者の皆様のみ対象にした学校配信メールをお送りしました。もし、届いていないご家庭がありましたら、3年の学年登録を再度、ご確認ください。